

女性活躍推進事業【長崎県佐世保市】

地域の実情と課題

平成28年12月に実施した市民アンケートでは妊娠・出産を機に退職や転職した女性は5割を超えており、その理由では「職場に十分な制度や理解がなかったから」が30%以上となっている。

また、同時期に実施した事業所調査でも、女性の管理職割合は正社員中6.1%で、全国平均と比べても低く、女性の登用が進んでいない。

以上の現状から、女性の活躍を推進する上で妊娠・出産後も継続就労ができる環境整備や女性の登用促進など事業主の取組推進と、女性自身が管理職を目指すようなスキルアップ等が必要となっている。

目的・目標

【目標】「女性活躍応援宣言登録制度」の説明・訪問事業所数 30件
【実績】28件

事業主団体の定例会で説明するなど登録への働きかけを行ったが、個別訪問はアポイントが取れないこともあり、目標に及ばなかった。

事業の特徴

○「女性活躍応援宣言登録制度」では、事業所を訪問して制度の説明を行い、登録を進めるなど細やかな対応を行っている。

○登録事業所から推薦された女性管理職(候補)からなる女性プロジェクトチームでは、事業所アンケートから優良取組事業所を選定や大学生との交流会を通じて、女性活躍推進の啓発及び参加メンバー同士の異業種ネットワークづくりにもなっている。

連携団体

「させぼ女性活躍推進協議会」

構成員: 佐世保商工会議所、長崎経済同友会、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎新聞社佐世保支社、親和銀行、(株)ヒューマングループ、長崎労働局、佐世保市

事業の効果

○「女性活躍応援宣言」登録事業所が累計117か所となり、市内で女性活躍に取り組む事業所を増やすことができた。

○登録3年目への事業所へアンケートを行い、登録後の取組と実績や効果を確認した。

今後の課題

「女性活躍応援宣言登録制度」は制度開始から4年目となるが、訪問して説明すると「制度を知らなかった」と回答する事業主も多いため、引き続き広報活動や事業主の団体を通じた周知などが必要となる。

事業の概要

○「女性活躍応援宣言」登録事業所の拡大・効果確認

市内事業所に、女性が働きやすい職場環境づくりや女性の登用促進など、女性活躍に関して取り組むことを宣言してもらう。

- ・市内事業所を訪問し、制度や趣旨の説明を行って宣言の登録を呼びかけ
- ・宣言の内容を記載した登録証を作成し、交付式を開催
- ・登録事業所と宣言内容を紹介するチラシを作成し、全世帯へ配布
- ・登録3年目の事業所に対しアンケート調査を行い、取組実績や効果を確認
- ・取組が優れている事業所3つを新聞折込紙に掲載して内容を紹介
- ・登録証交付式において事業主向けの講座を開催
- ・女性活躍への理解促進や登録事業所を紹介するパンフレットを作成

○「女性プロジェクトチーム」活動

登録事業所から推薦された女性管理職(候補)からなる「女性プロジェクトチーム」で年に5回活動。活動を通して女性人材の育成とネットワークづくりを図る。

- ・女性のキャリアについて考える「キャリア・デザイン研修」の受講
- ・「働く女性と学生交流会」を開催し、女性の継続就業について助言
- ・登録事業所アンケートの中から取組や効果が優れている事業所を選定

○「させば女性活躍推進協議会」の運営

市内の商工会議所、金融機関、大学、新聞社などと連携した組織で、市内の女性活躍の推進を図る。

- ・各構成員から推薦された委員による会議の開催(年1回)

○女性の再就職支援のための就業相談会の実施

- ・託児付きの個別相談会を月1回開催



(女性活躍応援宣言登録証交付式)



(女性プロジェクトチーム)